



減量推進員ニュース

茨木市産業環境部
資源循環課
TEL: 072-620-1814
FAX: 072-627-0289
E-mail: shigenjuncan@city.ibaraki.lg.jp

スリーアール

お知らせ 10月は3R推進月間です

3Rとは、ごみの減量に必要な三つの行動の頭文字をとったものです。

以下のような3Rの取組を積極的に行い、ごみの減量に努めましょう！

【リデュース】

Reduce ごみを減らす

- ・食べ物は残さず食べましょう。
- ・買い物にはマイバッグを持参しましょう。
- ・本当に必要なものか考えてから買いましょう。



【リユース】

Reuse 繰り返し使う

- ・使い捨てのものを使わずに、マイ箸、マイボトルなどを使用しましょう。
- ・フリーマーケットやレンタルショップを利用しましょう。
- ・壊れたものでもすぐに捨てずに、修理して使用しましょう。



【リサイクル】

Recycle 再生利用する

- ・リサイクルしやすい商品やリサイクルされた商品を使用しましょう。
- ・リサイクルできるものは市の回収や集団回収に出しましょう。

リサイクルできるもの

缶・びん・ペットボトル・古紙・古布・小型家電 など



裏面の「小型家電」「水銀使用製品」の方法で出されたものもリサイクルされます！

3Rは、**1.Reduce** → **2.Reuse** → **3.Recycle** の順番で
取り組むことが重要です！



報告

その1

携帯電話専用回収ボックスの回収実績

昨年の7月1日から専用ボックスによる携帯電話・スマートフォンの回収を実施しています。今年6月末までの12ヶ月で**556台**、**67.6kg**の携帯電話とスマートフォンが回収されました。引き続き、ご協力をお願いいたします。



回収された機器からは有用な金属がリサイクルされます。その内、金・銀・銅は「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト(主催:東京2020組織委員会)」により、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のメダル製作に利用されます。

裏面の「小型家電」の方法で出されたものも、メダル製作に利用されます。

紹介

小型家電、水銀使用製品 の出し方

平成30年10月1日から
回収場所を拡大します！

小型家電



- 対象品目...パソコン、カメラ、携帯電話、理髪用機器、オーディオ機器、小型家電の付属品 など

※家電4品目(テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機)は**対象外**です。

- 回収方法(①拠点回収 ②宅配回収の二通りがあります)

①拠点回収(無料)

...市内の公共施設に小型家電を持って行き、設置されている回収ボックスに投入する方法です。
※回収ボックスの投入口は35cm×20cmです。
※箱や袋に入れず、電池や説明書類は取り外し、本体のみを出してください。

②宅配回収(パソコンを含む場合の1箱目は無料。それ以外の場合1箱につき1,500円(税抜))

...インターネットで申し込み、ダンボールに詰めた小型家電を宅配便で回収してもらう方法です。
※料金は平成30年9月現在のものです。
※詳細は、リネットジャパン(株)ホームページ(<http://www.rennet.jp/>)またはお問い合わせ先(電話:0570-085-800)まで

①・②のいずれの方法でも、携帯電話やパソコンなどの個人情報**は必ず**消去してください。

水銀使用製品



- 対象品目...蛍光管、電池、水銀体温計、水銀血圧計、水銀温度計

- 回収方法(拠点回収のみ)

・拠点回収(無料)

※割れた水銀使用製品は回収できません。
※蛍光管は購入時の箱などに入れてお出してください。

拠点回収の回収場所

→平成30年10月1日から新たに回収ボックスが設置される場所

	生涯学習センター	中条図書館 (合同庁舎)	福井多世代 交流センター	沢池多世代 交流センター	庄栄図書館	水尾図書館
所在地	畑田町 1番43号	東中条町 2番13号	東福井二丁目 23番22号	南春日丘 五丁目1番8号	庄二丁目 26番12号	水尾三丁目 3番18号
電話番号	072-624-8182	072-622-2476	072-643-1300	072-624-1177	072-620-1171	072-637-4416
時間	9:00~22:00 (火曜日・年末年始を除く)	8:45~17:15 [月・火] 8:45~20:00 [水~金] 9:30~17:00 [土・日・祝] (年末年始を除く)	9:00~21:00 (日曜日・祝日・年末年始を除く)		9:30~20:00 [水~金] 9:30~17:00 [土・日・月・祝] (火曜日・年末年始を除く)	

報告

その2

廃棄物減量等推進員研修会を実施しました

平成30年8月23日(木)に廃棄物減量等推進員の研修会として、食品ロス削減の観点からごみの減量と発生抑制について学ぶ研修会を実施し、28名の推進員にご参加いただきました。

講師には日本清掃収納協会の清掃収納マイスター1級・認定講師の山崎由香さんをお招きし、講義は「プロから学ぶ収納術～冷蔵庫を整理して食品ロスを削減しよう～」という題目で、少しでもこの食品ロスを減らすため、冷蔵庫の中の食材を上手に収納し、賞味期限・消費期限切れの食品を減らす方法や外食時に食べ残しを減らす取組等、日常生活に取り込みやすい内容をお話いただきました。

参加いただいた方からは「主婦なので全部きいていてわかりやすくなすくことばかりでした。」や「早速家に帰って冷蔵庫掃除をしようと思いました。」などの感想をいただきました。

- 研修会の内容を少しご紹介...

食品ロス削減のキーワードは... 「買ったら食べる！」

<買い物>

- ①事前に冷蔵庫内をチェック
- ②必要な食品はこまめに少量ゲット
- ③手前に陳列されている食品をチョイス

<調理>

- ①残っている食材から使う
- ②野菜や果物の皮の厚むきをしない
- ③食品を上手に食べきる



↑ 冷蔵庫の使いやすい高さを身体で覚えている様子



↑ 冷蔵庫の整理グッズを紹介している場面

